
特撮執行部！

コードネームペロチナ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

特撮執行部！

【Nコード】

N6261P

【作者名】

コードネームペロチナ

【あらすじ】

特撮ハートフルボツコメディ

プロローグ

・No Title

特撮執行部

プロローグ

ある晴れた日のこと。魔法以上の愉快なことがあるわけもなく、俺は歩き慣れた廊下を一人で歩いてた。

ああ。こんな静かな日常は久しぶりだ。どんなワケか知らないが、同じクラスの問題児である如月は欠席しているし、秋雨や梨絵ちゃんはやほど無縁のことが無い限り騒ぎを起こさないから問題ない。なにより、あの部長が休んでいることが非常に大きい。数日前、忌引きで学校を休むと言ってたから今日は絶対に学校にこないだろう。トイレに入るとチャックを下げて用をたす。

ふう………プライバシーが守られているはずのトイレでさえ、いつもならどんな事態にも対応できるように気を張り詰めなければならぬいからな。だが、今日は一緒にいるとトラブルに巻き込まれる率120%のクラスメイトならびに同じ部活の部員である如月涼子と、一緒にいると命がどれだけはかなくて脆いものなのかを教えてください。部長がいない。

しかも二人そろって！ なんとという奇跡！

……ん？ あの二人がそろって休む………だと？

あの『バカは風邪をひかない』という格言が本当なんだと実際に証明するかのよう、高校生活が始まってから昨日まで、如月は欠席どころか遅刻や早退も一度も無かった。そんな元気だけが取り柄のあいつが休むだなんて冷静に考えてみるとおかし。正直、天変地異が起こってもおかしくないレベルだ。

それに、『冷酷非情な生徒会長』でこの学校に名前を轟かせていて誰よりもこの学校のことを考えているであろうあの人まで休んでい

るだなんて……。

「ほう……何と気が抜けた面をして用をたしているのだ貴様は」
殺気!？」

ハツと後ろを向くも、振り返った先には誰もいなかった。

い、今聞こえてはならない声の持ち主のささやきが聞こえたような……。ははっ……そんな訳ないよな。あの人がここにいるはずは無
いんだし……。

「いきなり振り向いてどうかしたの？ 変な気配でも感じちゃった
？」

「ああ、ゴメン。なんだか想像しすぎて神経が敏感になってるみた
いなんだ」

大丈夫。俺の考えすぎだ。これはたまたま偶然が重なっただけ
で、それ以上のことは何にもない。

「ふーん。ま、あんまり気にしないことだよ。ボクもナーバスにな
ったときは悩みすぎないで、とりあえず遊んでから考えるし！」
なるほど逆転の発想か。確かに思いつめてストレスを溜めてしまっ
ては元も子もない。

よし、初めて訪れた自由な一日だ。いつもの鬱憤を晴らすために
も、嫌なことは全て忘れて気楽に過ごそう!

「あ、でもちゃんと部活には来てよね。君が休むとカズちゃんが半
殺しされるだけじゃなくて、ボクたちにもとばっちりがくるんだん
から」

「おう。ああ、あとアドバイスありがとな。お前もたまには良い
こと言うんだな」

「たまには、は余計! じゃあ先に教室戻ってるからね!」
ドアを開け颯爽と去っていく如月を目で追いながら、俺は深く、そ
して大きく深呼吸をした。

なんであいつがいるんだ？

「やっと気がついたようだな」

嫌な汗が体中から滲み出てくる。やっぱりさっきのは幻聴じゃなかったのか。

「ぶっ、部長！？ 今日は何引きだかなんだかでお休みのはずでは……」

「うむ。さすがに無断で学校を休むなど生徒の見本である生徒会長がやるわけにはいかないからな。数日前から理由を作っておいたのだ」

身内から騙してたってわけかよ！

「さすが部長、用意周到ですね！ やっぱ抜かりがないなあ。あつ、そろそろ次の授業が始まるな！ じゃあ俺はそろそろ失礼するとしてグエ」

「今はもう放課後だ」

この状況でこの人と一緒にいたら危ないと本能が察知し、そそくさとトイレを出ようとするも襟首を掴まれ引き戻されてしまった。

そして

「フフツ……放課後は長いんだ。お前にきつちりと『オシオキ』をしてから部活を始めても、遅くはないだろう」

俺のいつもと変わらない地獄の一日が半日遅れで始まったのであった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6261p/>

特撮執行部！

2011年1月4日03時51分発行